

議会広聴広報委員会アンケート（概略版）

令和3年2月において、川崎町に居住する10代から70代の町民350人を対象に実施。（配布件数：350件、回収件数：118件、回収率：33.7%）

アンケート回収率 ※Q1：年代

男	53人
女	65人
計	118人

Q2：性別

年代	回答人数	回収率	(送付者数)
10代	2人	10.0%	(20人)
20代	12人	24.0%	(50人)
30代	11人	22.0%	(50人)
40代	14人	28.0%	(50人)
50代	25人	50.0%	(50人)
60代	31人	38.8%	(80人)
70代	23人	46.0%	(50人)
全体	118人	33.7%	(350人)

Q3: 議会活動あるいは議員に関心はありますか。

1.ある	50	42.4%
2.ない	25	21.2%
3.どちらともいえない	42	35.6%
無回答	1	0.8%

Q4: 議会では「議会情報便カワサキ」を年4回発行しています。読んだことはありますか。

1.毎回読んでいる	51	43.2%
2.たまに読んでいる	44	37.3%
3.以前は読んでいた	7	5.9%
4.読んだことはない	15	12.7%
無回答	1	0.8%

Q5: これまで議会を傍聴したことや、ライブ中継(録画も含む)を見たことがありますか。

1.傍聴したことがある	5	4.2%
2.中継を見たことがある	14	11.9%
3.両方ともある	3	2.5%
4.ない	96	81.4%
無回答	0	0.0%

Q6: 議会に必要だと思うことはありますか。
※複数回答可

1.議会での活発な議論	43	19.2%
2.町当局との協力	34	15.2%
3.町民との対話	68	30.4%
4.行政区長との連携	37	16.5%
5.各団体との対話	22	9.8%
6.特にない	15	6.7%
7.その他	5	2.2%

Q7: コロナ禍のなかで生活様式などに変化はありましたか。

1.大いにある	51	43.2%
2.少しある	53	44.9%
3.変わらない	14	11.9%
無回答	0	0.0%

Q8: 感染症予防などで特に注意していることがありますたら記入願います。

コメントあり	97	82.2%
なし	21	17.8%

Q9: コロナ禍のなか町当局と議論しながら対策を講じていますが思うことはありますか。

1.ある	40	33.9%
2.ない	78	66.1%

Q6:議会に必要だと思うことはありますか。「その他」の回答

- ・個人の利宮にとられない
- ・町民にとって痛みを伴う改革でも議会としてまとめ上げる事

Q7:コロナ禍のなかで生活様式などに変化はありましたか。 (具体的な変化内容)

- | | |
|-----------------------|-----|
| ・外出の減少・自粛 | 38件 |
| ・会話・接触の減少 | 9件 |
| ・予防対策(マスク・消毒等)の習慣化・徹底 | 8件 |
| ・収入の減少 | 8件 |

Q8:感染症予防などで特に注意していることがありましたら記入願います。

- | | |
|------------------------|-----|
| ・マスク | 66件 |
| ・手洗い・消毒 | 58件 |
| ・外出・外食自粛 | 36件 |
| ・会話・接触を控える、ソーシャルディスタンス | 17件 |

Q9:コロナ禍のなか町当局と議論しながら対策を講じていますが思うことはありますか。

- ・マスクの着用など義務化してほしい。
- ・町当局とはコロナ時、特に同じ方向を向き協力してほしい
- ・十分な対応をしている。条例など
- ・事業継続支援事業に関し、国や県が実施する事業からはずれる事業も対象になるような支援を希望します。
- ・生活が苦しい人々への支援が足りない。もっと地元の老人達が働ける場所を増やすべき
- ・今後、コロナウイルスのワクチン接種時のソーシャルディスタンスの徹底をしてほしい。めばりを貼るなど人と人との距離の確保
- ・釜房湖のところ(アンケート用紙表紙)の川鶺の巣を駆除してほしい。北川、町内の川に魚、鶺に食べられ生態が崩れている。自然を守ってほしい。
- ・特定業種に保証が偏らないようにしてほしい
- ・言いたい事を言う場が分からない(ない)
- ・危機感がある人が少ない。集まりを極力無くす。
- ・国からのコロナ対策交付金を有効に活用してほしい。
- ・町全体としてはいろんな分野でやってくれていると思います。個人の立場でいうと会社では補償がなくても個人で出来る事もあると思うのですが、そういった情報などを広報誌などを利用して発信して欲しい。知らないまま終わってしまい、その他に支払いに困っている場合もある。
- ・対策事業実施一覧に対しては特にないが、低い収入の世帯への支援なども考えたらどうか。コロナ禍のなか出費が多い為

Q10:意見・要望

- ・現在年金暮らしをしています。税金が高すぎます。これでは暮らしが楽ではありません。なんとかしてください。65歳過ぎると仕事も全部断られます。生活できません。よろしく願います。
- ・私は年金生活をしております。水道料が高いので3人家族で毎月1万円くらいになります。大変です。気をつけて水を使っています。もう少し安くなると助かります。考えてもらえないでしょうか。
- ・支援金も視野に入れてほしい。国は当てにならない。町で乗り越えよう。いらぬ工事に金を使わず「今」の生活に困っている人への給付金を考えてもいいと思う。やはり世の中金。
- ・今後、更に少子高齢化が進む中で、過去の姿には戻らないわけで、現状よりも少し良いか、維持が出来る事の考え方を検討するべきである。例えば、生活に必要な資金が得られる職場があること。高齢化には自助・共助は限界がある、やはり公助が大切である、移動の為の支援や、買い物の支援又は移動販売など。農村地域の町であるが、後継者が居ないのが現実である、将来的には公的な事業体を作り経営をする手法を早期に対応すべきである。
- ・隣組長が税金を集金しなくてもよい。個人で振り込みをする体制を考えていただきたい。歳をとってから他人様の大金を預かるのは大変苦痛です。一日も早く納税組合廃止を願います。
- ・若年層の意見を取り入れていけたらより良くなると思います。
- ・子供が遊べる大きな公園があったらと思います。子育て支援センターもありますが、人見知りでも気軽に行ける場所があったら助かります。
- ・川崎町に移住して来られた方ともっと交流してみたいと思うことがあります。川崎町で生まれ、育った人には見えない川崎町の良さがきっとあるんだろうなあと。みやぎふるさとCM大賞でも移住して来られた方達が中心になって川崎町の良さを伝えてくれています。川崎町で子育てをしていきたいと思える若い人達が増えるよう、活発な議論を期待しています。